



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Dec.2024

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

年末年始となり、帰省や海外旅行の計画を楽しみにしている方も多いでしょう。しかし、最近では日本でも物騒になってきた為、クレジットカードのスキミングに注意し、特に海外旅行を計画している方は細心の注意が必要です。

私の知り合いで飛行機の機内で現金を全て盗まれた方がいました。その方は、リュックに指紋認証のロックをしていましたが、海外の国内線の機内で現金を全て抜かれてしまったとの事です。

どうやら何らかの装置でロックが誤動作して開けられたものではないかと思ったようですが、ネットで調べところ、

『ポテチ開け』という非常に原始的且つ容易にロックを開ける手口がある事が分かったようです。

皆さんもこの年末年始にせっかくの旅行が、最悪の思い出にならないよう十分気をつけてください。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

蛍光灯の2027年問題をご存じでしょうか。昨年の「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」にて、直管蛍光灯の製造と輸出入を2027年末までに禁止することが決まりました。ちなみに、電球形蛍光灯は、2025年末で製造・輸出入禁止となります。2028年以降も在庫品販売や使用は継続できますが、新たに製造することは出来ませんので、LED照明への移行が加速します。サンシングループでもこの波に乗り遅れないよう、事前の情報収集・共有してまいりましょう。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Construction of an electric vehicle battery recycling facility at Hong Kong Eco Park has begun and is expected to be operational by the end of 2026 at the earliest. The facility marks Hong Kong's success in promoting the development of new industries such as the high-end recycling industry. Hope there will be more and more development plans to promote local environmental protection and diversified recycling industry. (C.W.)

CSI

先日、町のデパートSMに買う物が有り行きました。丸亀製麺やぼてぢゅうが来店していました。どちらか食べたかったのですが、いずれも行列が出来ていて、聞くと2-3時間待ちとの事。他にはやよい軒が出来る予定。住まいの近所にはカレーハウスCOCO壱番屋と三ツ矢製麺が有りよく食べます。(K.S.)

SANSHINWest

1年の半分以上が夏だった今年、海水温上昇率は日本が世界一となり沖縄生息の魚が東北海域で獲れ、季節ごとの果物は不作続き。野菜も適温期が無かった為に高騰しています。和歌山名産の南高梅も暖冬の影響で開花が早まり結実が平年の4割以下まで減少、収穫量は壊滅的な状況です。異常気象による生態系や農業への影響は年々深刻になっています。日本の食糧問題は国内の気候変動と輸入依存の影響が重なっていますが、気候変動に強い農作物の開発や地産地消への取り組み強化が急務と感じます。古き良き文化の承継と柔軟な創意工夫、先を見据えた開拓精神は私たちの仕事にも通ずるところです。2025年も仕事にプライベートに精一杯取り組んでいきたいと思えます。皆さま健やかによいお年をお迎えください。(N.K.)

SHINKOWA

今年も残りわずかとなりました、12月に入ってから急に寒さが身に染みるようになり、水道が凍ることもあります。今年は特に自然災害の影響はなかったと思いますが、やはり夏季の高温の日が長く続いたので食に関するものが高騰したように感じます。来年は生活しやすい状況になるように祈願します。(M.N.)

SC2

【最恐の毒性?!】皆様ご存知、猛毒PFAS。環境に還らず永遠に地球を汚し続けます。そしてたびたびお伝えしている、合成洗剤や柔軟剤に含まれるマイクロプラスチック。猛毒の双璧ですが、これが合体するととんでもないことに!詳しくはリンク先の記事をご覧ください。https://www.gizmodo.jp/2024/12/microplastic_pfas.html (M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

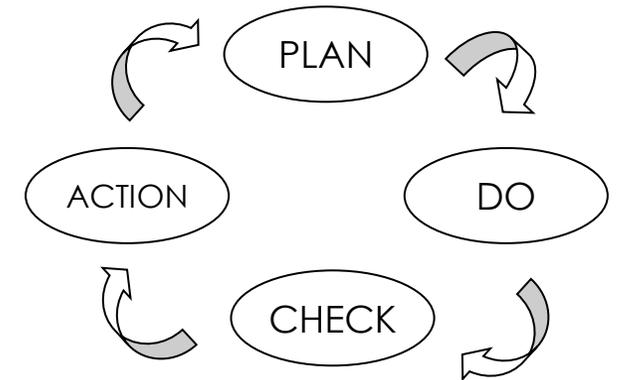
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

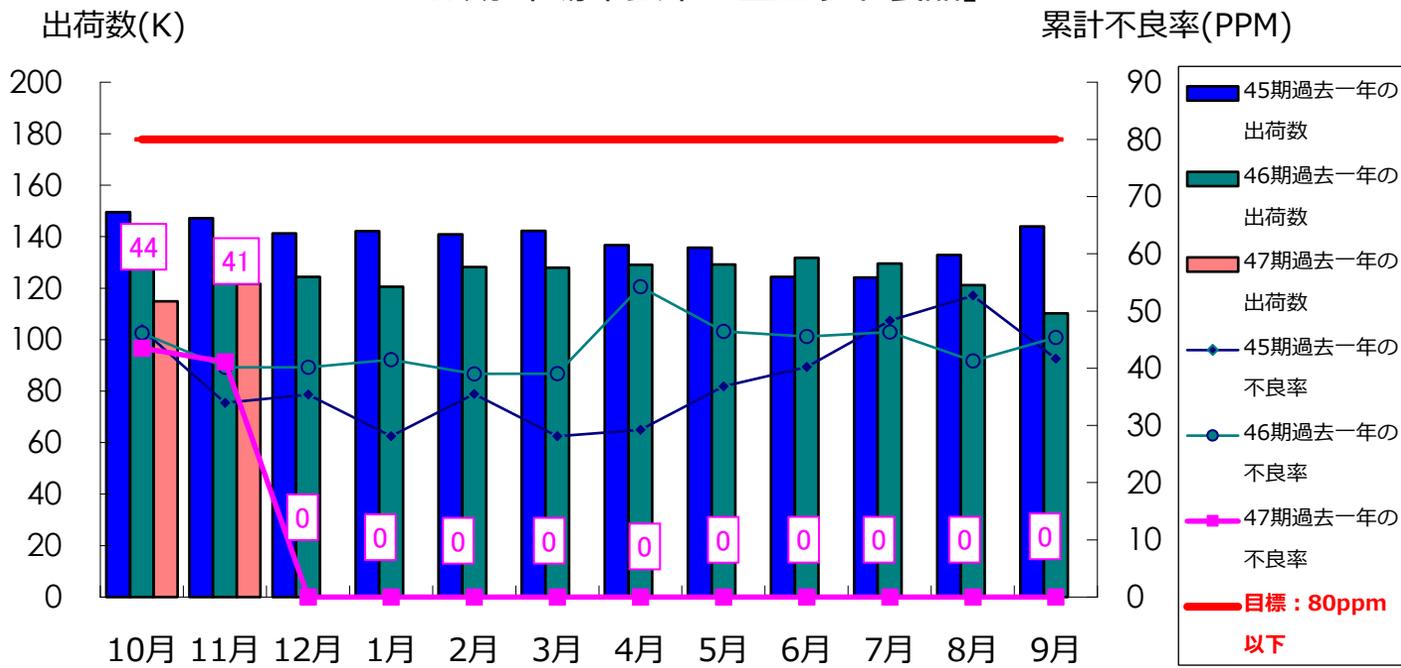
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

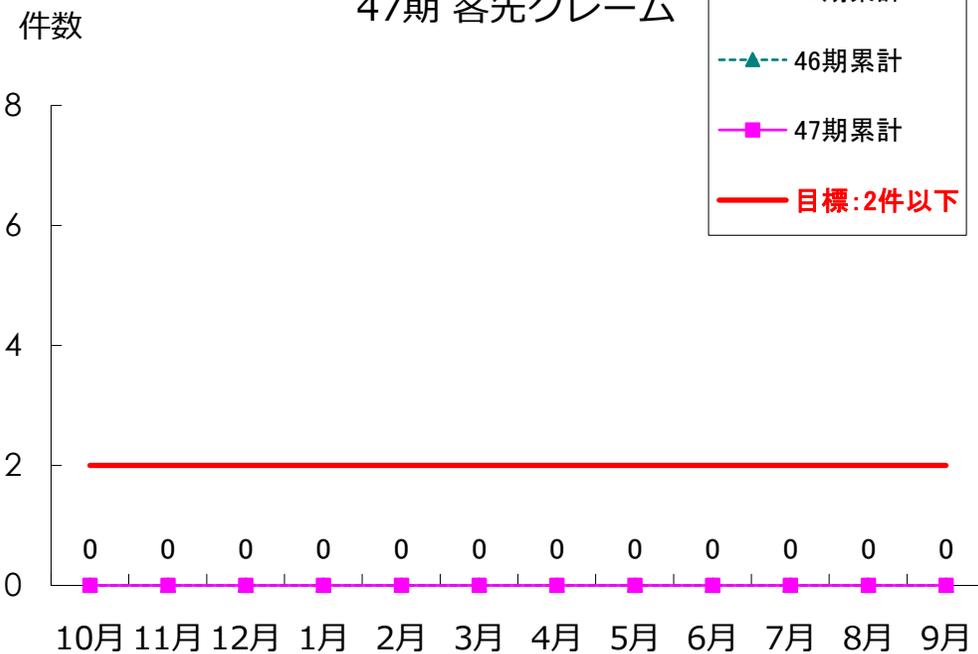
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 47期の累計不良率(解析依頼含む) : 41ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0件

47期 市場不良率「ユニット製品」



47期 客先クレーム



ESG Report (環境)

TOPICS

□ 蛍光灯の2027年問題とは？

日本の照明業界や家庭にとって、2027年は重要な年になると予測されています。この年、蛍光灯の製造が終了する「2027年問題」が訪れるためです。LED照明が普及する中での自然な流れとも言えますが、長年親しまれてきた蛍光灯の終焉がもたらす影響について理解しておくことは非常に重要です。

☑ なぜ蛍光灯は製造終了するのか？

蛍光灯の製造終了の背景には、環境規制の強化と技術進化が大きく関係しています。2010年代以降、世界的にエネルギー効率の向上や温室効果ガス排出削減が求められています。そのため、消費電力が少なく寿命の長いLED照明が注目され、蛍光灯の需要が減少してきました。さらに、2023年11月に開催された「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議（COP5）」にて、水銀添加製品である蛍光灯の製造・輸出入廃止が決定しました。この規制は日本にも影響を与え、メーカーが蛍光灯の製造を段階的に終了する方針を打ち出しています。蛍光灯の製造・輸出入の最終期限が2027年末 なのです。

なお、環境省が2021年に行った調査によると、住宅内でLED照明を使用している世帯は約7割を占めるものの、住宅内の「全ての」照明をLEDにしている世帯はわずか2割弱。まだまだ多くの場で蛍光灯、あるいは白熱電球が使用されているのが現状です。

これまで行政や企業を中心にLED照明への移行を推奨してきましたが、蛍光灯の生産終了発表を受けてこうした勢いはさらに加速していくと思われます。

蛍光灯からLED照明への移行で約50～60%、白熱電球からLED照明への移行では約80%消費電力が削減されることを考えると、水銀の流出による健康・自然への被害防止に加えて、環境負荷の軽減に期待は高まるばかりです。しかしその前に、照明業界は目の前に迫る蛍光灯からLED照明への「移行の波」への対処が求められることとなります。

TOPICS

☑ 2027年問題がもたらす影響

蛍光灯の製造終了は、私たちの生活や業界にさまざまな影響を与えます。以下に具体的な影響を挙げます。

・在庫切れによる調達困難

2027年以降、新たに蛍光灯を購入することが難しくなります。既存の在庫が尽きれば交換が不可能になり、特に古い建物や設備で使用されている蛍光灯の照明器具に影響が出る可能性があります。

すでに多くのメーカーで製造終了・製造終了予定が発表されており、市場品の値上げや品切れが発生する恐れがあります。ただし、2027年末以降の製造・輸出入は廃止となりますが、在庫品については流通・販売、既存品の継続使用は可能です。

・経済的な負担

蛍光灯からLED照明への移行には初期費用がかかります。LED照明はエネルギー効率が高く、長期的にはコスト削減に寄与しますが、器具の交換や設置費用が負担となる場合もあります。特に中小企業や公共施設では、予算の確保が課題になるかもしれません。

・廃棄物処理の問題

蛍光灯には水銀が含まれているため、適切な処理が求められます。製造終了に伴い、廃棄される蛍光灯の量が増加することが予想されます。事業所に出た蛍光灯は「水銀使用製品産業廃棄物」として処理をする必要があり、廃棄時には蛍光灯を割らないように注意しながら、専用業者に正しく依頼をしましょう。

TOPICS

☑ 蛍光灯を交換する際の注意点

◇未警戒期間の発生

現在蛍光灯を使用しており、器具一式をLEDへ交換したい場合、工事が必要となります。マンションの共用部・オフィス・工場などは工事必須の場合がほとんどです。交換個数が少ない場合は一日で工事が終わることもありますが、交換個数が多い場合、特に工場などの広大な敷地で一括器具交換をする場合は日数がかかる可能性があります。

特に注意しなければならないのは、「避難誘導灯」といった消防設備です。消防設備は、万が一の火災時に使用できないということがないよう、半年に一度の点検が義務付けられています。しかし点検時に蛍光灯を使用している避難誘導灯の不備が見つかり、急いで器具交換を検討したとしても未警戒期間が発生してしまいます。消防設備に関しては未警戒期間が発生しないよう特に注意し、計画的な交換を進める必要があります。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
点検	🔍	半年に一度の消防設備点検					🔍						
故障		✖	故障発生										
発覚							!	次回点検時に故障発覚					
発注							↔						
手配								↔					
工事										↔			
復旧												◯	
未警戒期間		← 長期間の未警戒状態の発生 →											

TOPICS

□ 蛍光灯の「2027年問題」まとめ

「2027年問題」とは、蛍光灯の生産終了に伴う問題を指します。
家庭やオフィス、公共施設で長年利用されてきた蛍光灯は、環境と健康への影響を理由に経済産業省の規制下で2027年末に製造と輸出入が禁止されます。
これにより市場には供給が途絶します。
消費者と企業は対策としてLED照明への移行を急ぐ必要があります。
LEDは高い省エネ性能と長寿命を持ちますが、買い替えコストが発生するため計画的な導入が求められます。
また、蛍光灯不足や価格上昇も予想されるため、早めの対策が重要です。
経済産業省のガイドラインや支援策を活用し、効率的かつ持続可能な照明環境を実現することが推奨されます。

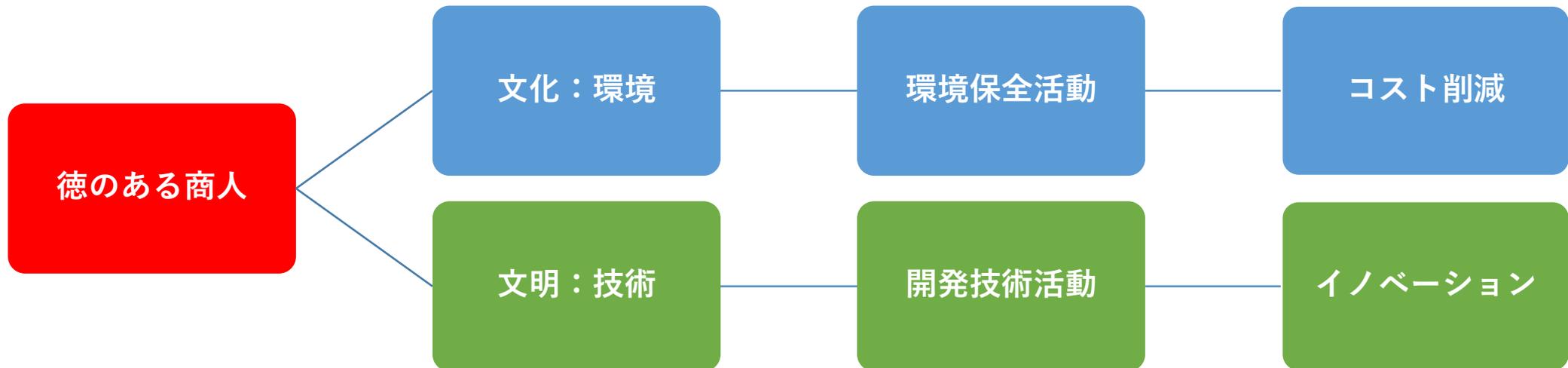
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

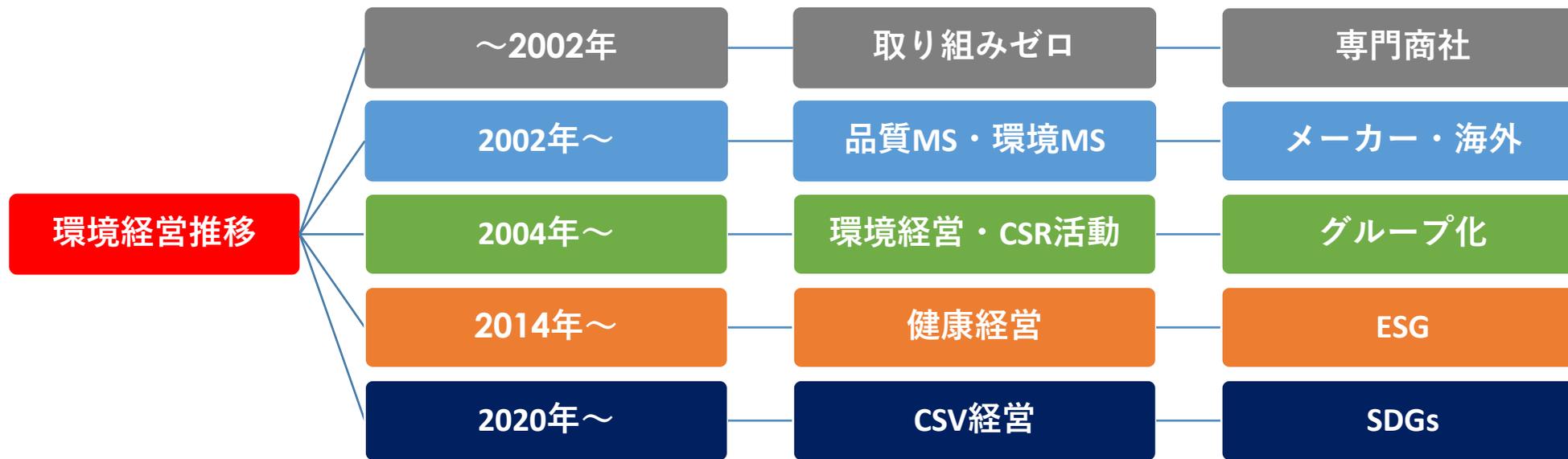
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

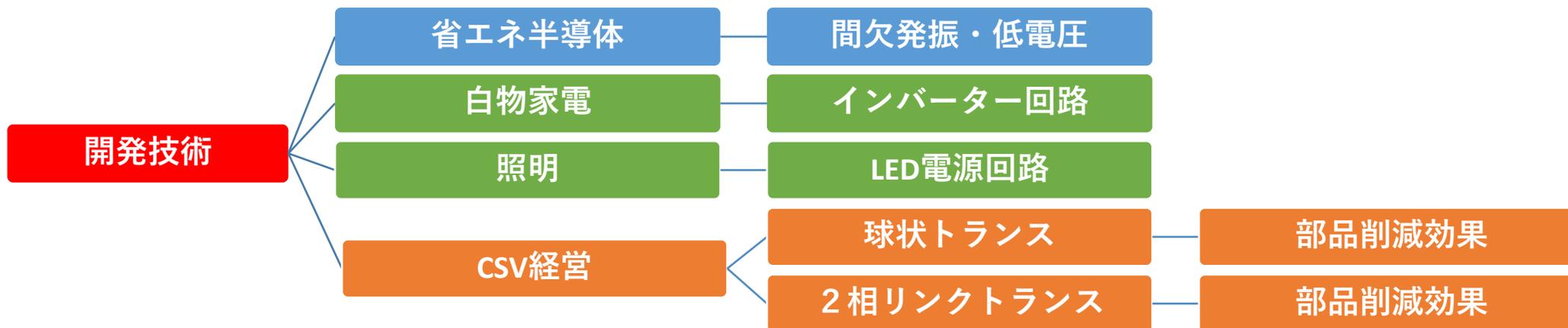
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



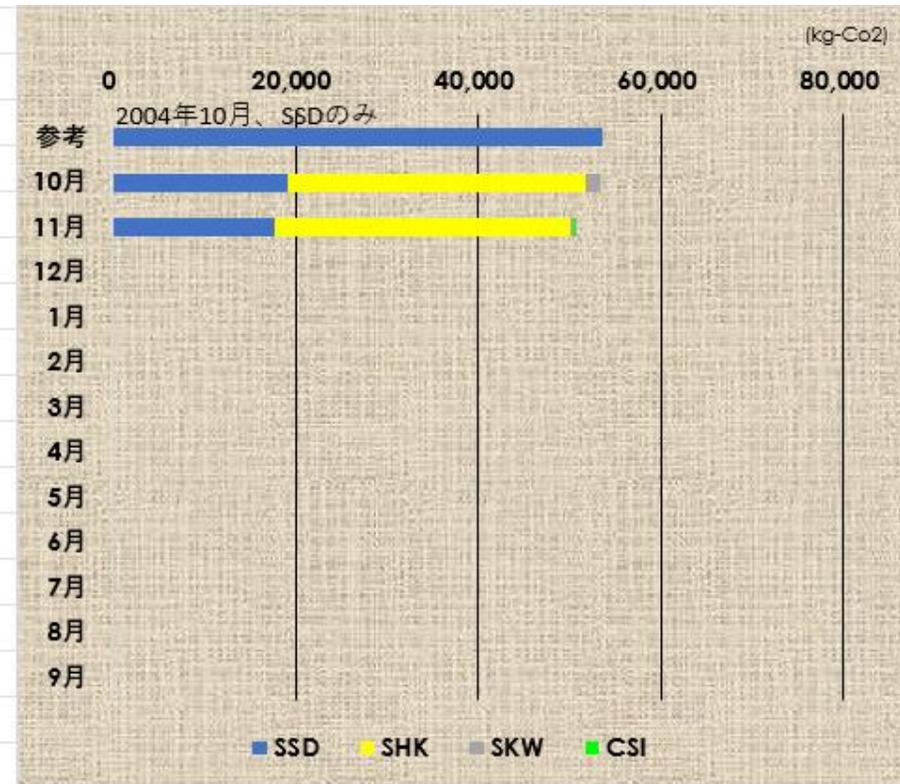
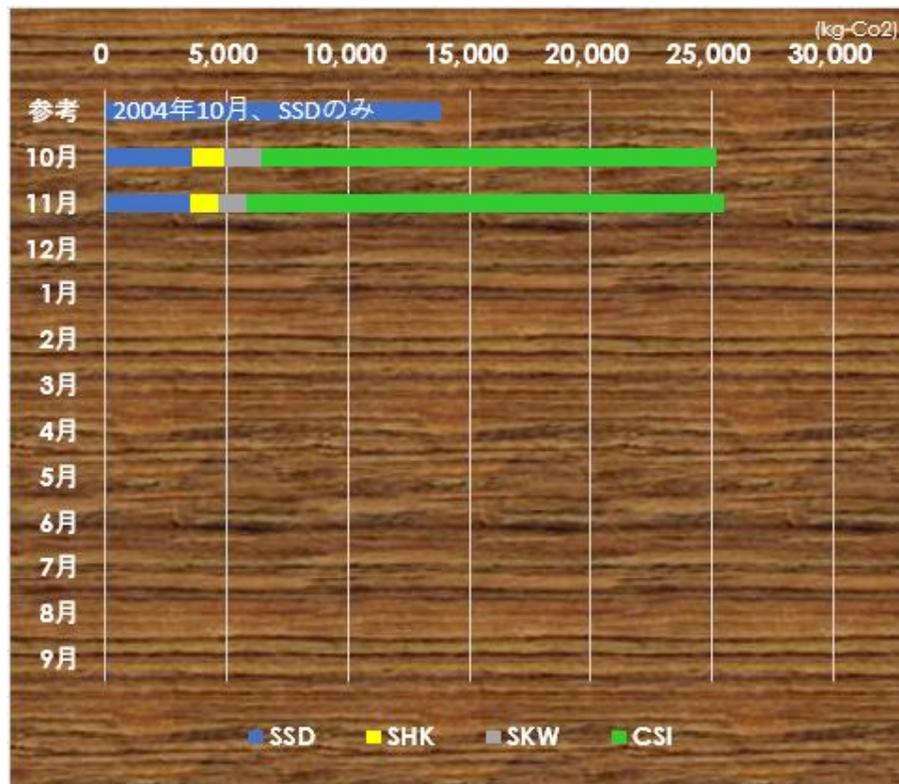
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

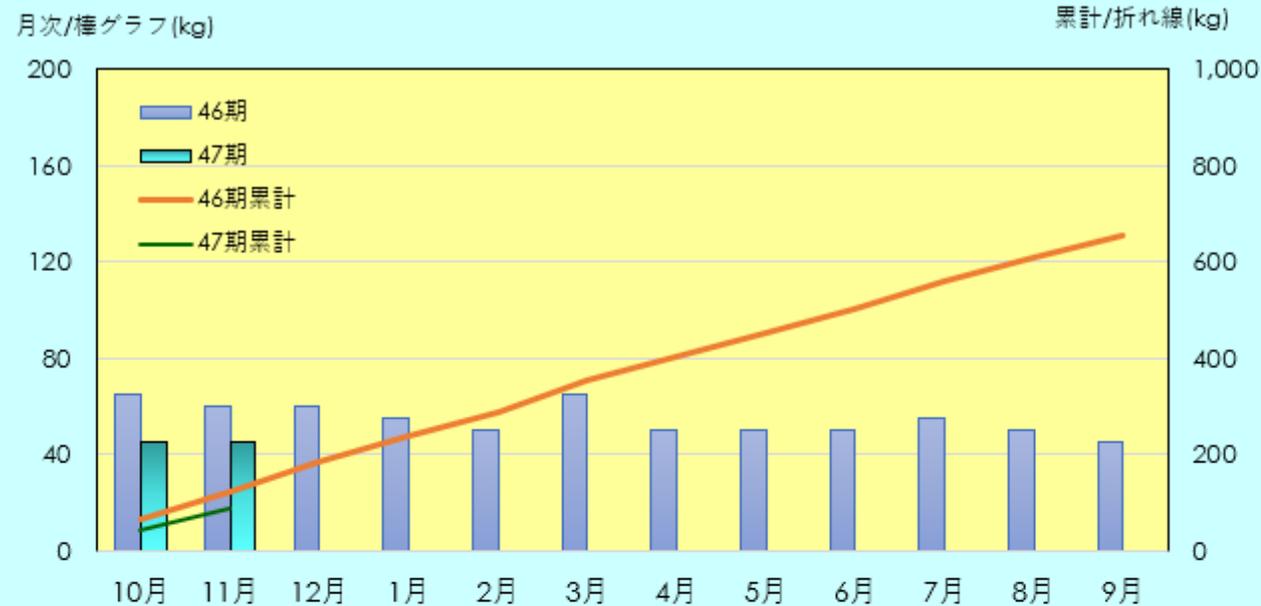
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

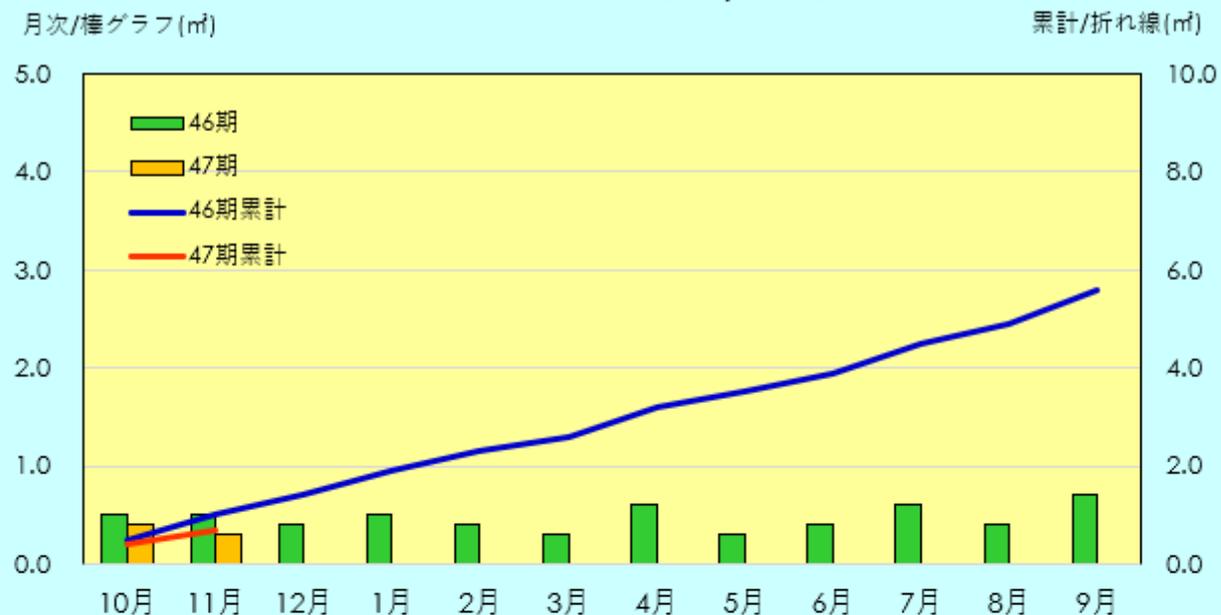
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



47期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

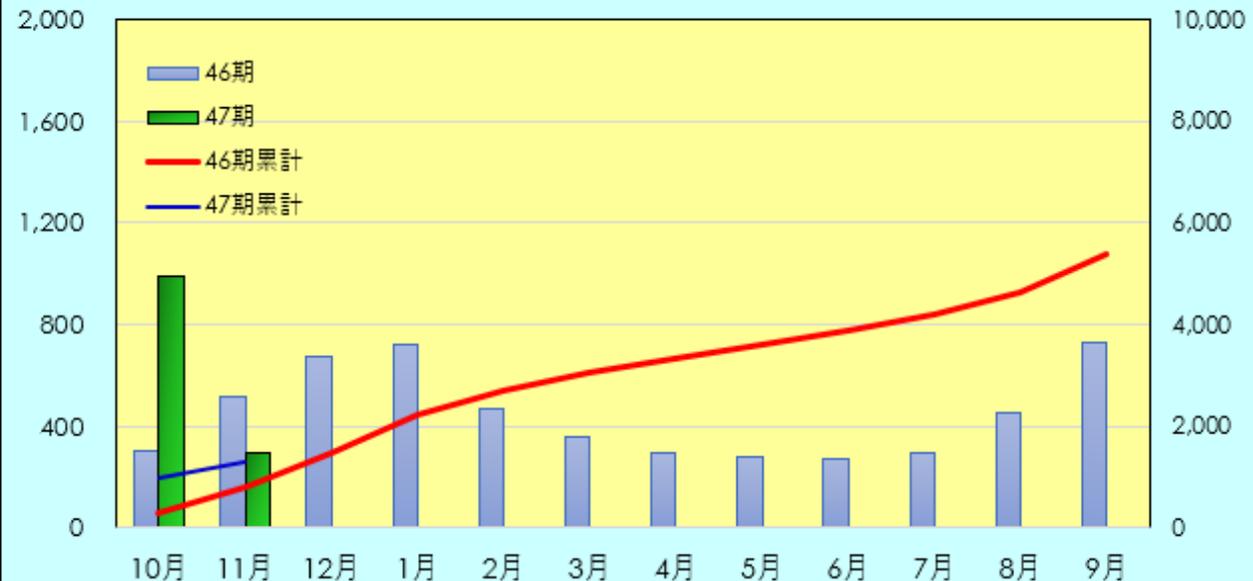
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

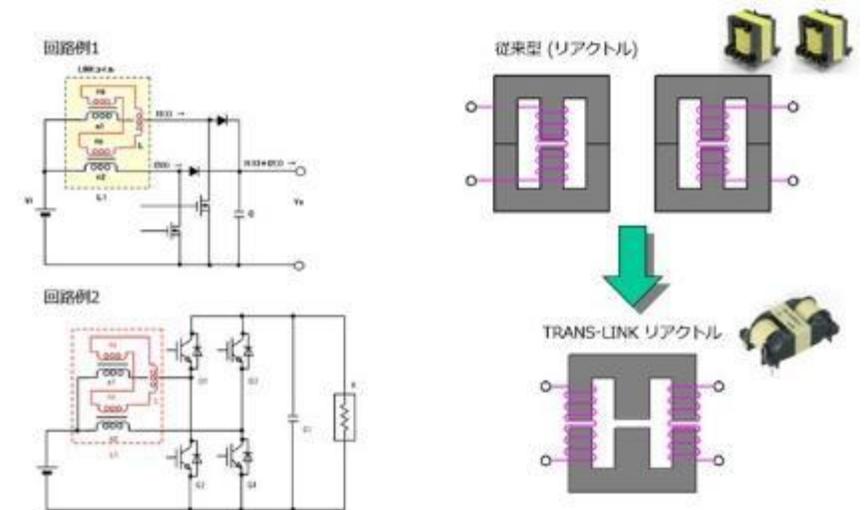
今月のTOPICS

●サンシングループの多彩なコラムで、新たな発見を

当社の新ホームページでは、技術とビジネスの最前線を解説する多彩なコラムを公開中です。リアクトルやトランス設計など電源システムの基礎知識から、高度なカスタム電源ソリューション、高調波対策の実践方法まで、専門的かつ実用的な内容を分かりやすく紹介しています。また、サンシングループで営業を「EIGYO」と呼ぶ理由や、技術商社としての役割にも迫ります。今後も随時更新していきますので、ぜひコラムのページにご注目ください。

コラムはこちら！

<https://sanshin-ele.com/column>



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（11月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

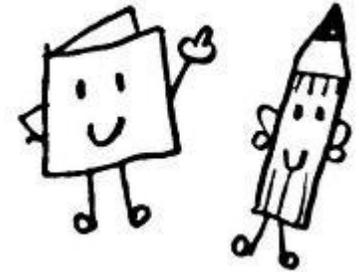


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

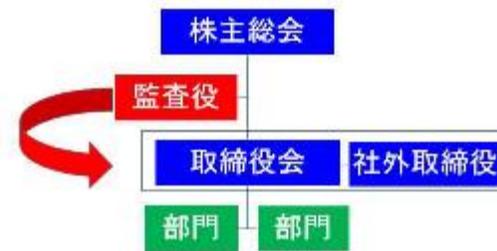
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

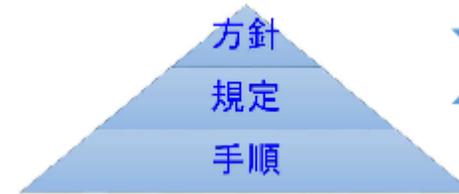
■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

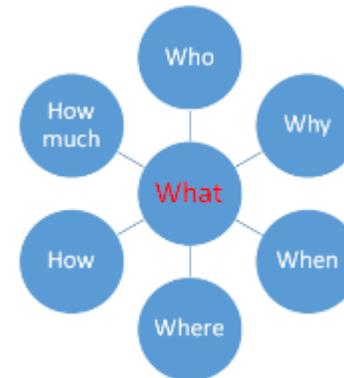


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



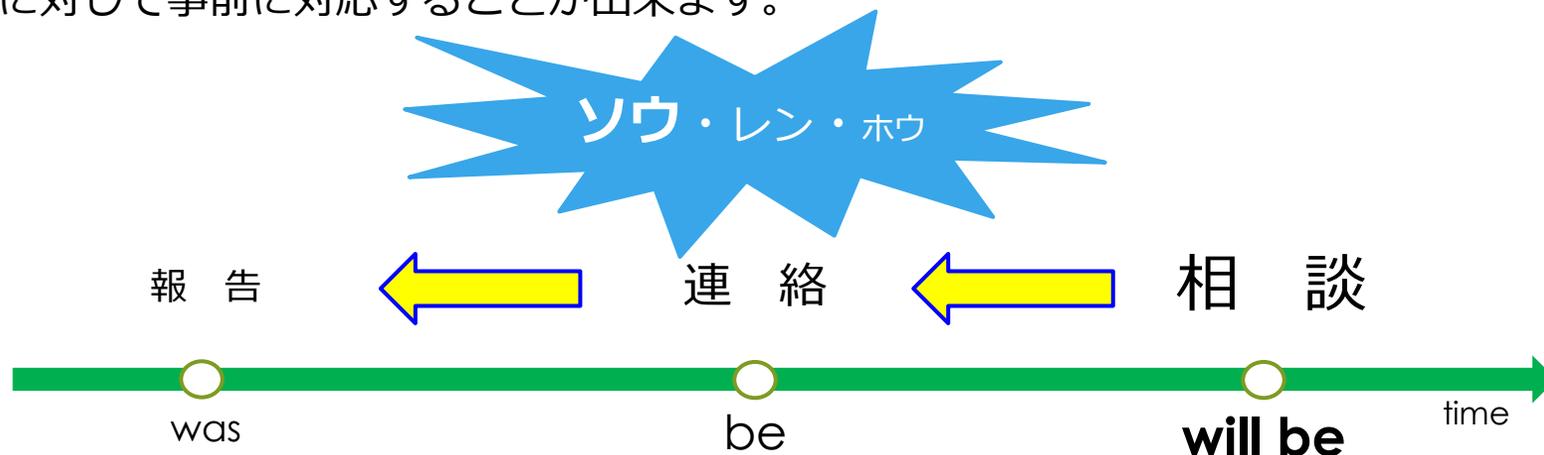
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

2024年最後のESGレポートとなりました。本年もありがとうございました。思えば新年の能登地震に始まり、新紙幣の発行、自民党総裁選、はたまた大谷選手の50-50、パリ五輪での日本人選手の活躍等々...、今年も多くの出来事がありました。グループとしまして皆様のご支援とご協力のおかげで無事に乗り越えることができました。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。